



オープニングセレモニーの鏡割り

の協力で二体型ユニットを冷却ユニットを紹介し、コンテナの壁面に二台数の同時使用も可能な

こと、省エネタイプなので経済的などが特長。
 ナノクス（社長＝青木和茂氏、本社＝福岡県北九州市小倉北区西港町94-22）はウルトラファイナブル（UFB）とUFB発生装置、ナノフレッシュャーを出展した。UFB、超・微細・気泡はナノサイズの目に見えない気泡でマイナスに帯電し気泡同士が合一せず、殺菌・抗菌・洗浄・生理活性効果がある。UFBの魚体に対する脱酸効果のメカニズムは、窒素UFBによって海水中の溶存酸素が窒素置換され、ほぼ無酸素状態となるため、魚体表面の酸化を防止し、さらに魚体内に残っている酸素を窒素UFBが内包することにより内臓に多く含まれる油脂分が酸素に触れることなく参加を抑制、低酸素環境により一般細菌の活動や増殖を抑制するといつもので、漁獲時の鮮度が長時間保持できる。また、酸素UFBは、活魚輸送や閉鎖循環式陸上養殖設備にも活用

柴田熔接工作所

「冷熱を創造する企業」

テーマに シーフードで 総合エンジニア力を訴求

柴田熔接工作所は8月20日から3日間、東京ビッグサイトで開催された第16回「ジャパン・インターナショナルシーフードショー」に出展し、冷熱を創造する企業をテーマに、水産加工場を模したブースで来場者にアピールした。

同社は毎回シーフードショーへの出展を続けており今年が10回目。前回まではフレックアイス製氷機のみを展示していたが、10年の節目を機に趣

向を変え、冷熱総合エンジニアリング企業としての姿を明確に表現した展示構成とした。
 「冷熱知識を駆使して顧客の要望する加工施設を提供していく。総合エンジニアリング企業として当社を知ってもらいたい」（柴田勝紀社長）。



柴田熔接工作所ブース

国内各メーカーの冷熱機器を扱うほか、自社で製造も行うのが同社の特長。実際、このノウハウを生かした同社の冷熱施設の総合プロデュース

での施工実績はここ数年、増えてきている。水産加工施設でいえば、クリーンな環境づくりから製氷機や冷凍庫、凍結装置などの機械一式

の設計・施工までを一手に手掛けるというもの。なお、先月、熊本県芦北町の廃校になった小学校を改修して完成した製氷工場「アクアピラ」も同社が総合プロデュースを手掛けた一例（関連記事8面）。

液体加熱ヒータ ラインアップ

各種在庫 短納期対応

◎投げ込みヒータ ◎プラグヒータ ◎フランジヒータ ◎液体温調器付

化するなど、本来アフター用途へ対応する。